

【トラック3】

バックで交互にセックス。ママが帰って来てばれないよう声を殺してセックス

(ゆき声の向き：右 距離：普通)

(りお声の向き：左 距離：普通)

ゆき

「んふふ、先生…

じゃあ、今からいっぱい気持ち良いこと教えてあげますからね？

私たちがあ、忘れられない筆下ろしにしてあげます♪

だから、んしょつ、

さ、まずはゆきのおまんこにそのぶつといおちんぽ、いれてちゃってください♪  
ゆきはこうやってベッドに寝てますから♪」

りお

「ええー、ゆきからすんのぉ？」

ダメダメえ、私も先生とセックスしたいよおー。

ねぇ、先生りおと先にセックスするでしょ？」

ゆき

「りおはさっき先生のおちんちんにフェラチオしたでしょう？」

だから今度は私の番一。

ねぇ、先生、ゆきとセックスしますよね？」

りお

「やーだー！先生の童貞はりおが貰うんだから！」

先生、先生の童貞、りおにちょーだい？」

ゆきりお

「先生、どっちとセックスするの？」

りお

「…え？ どっちとも…？」

ゆき 「はあ、2人とも…手についてお尻を先生の方に突き出す…？」

こう、ですか？ んっ…これ、は、恥ずかしいです…」

(りお声の向き：正面 距離：普通)

りお

「ゆきとりお、お尻の穴もそっくり…？  
や、やだあ、そんなところ見ないでえ…。  
ああ…つ、恥ずかしくって、お尻の穴ひくひくって、動いちゃうよう…。  
ひやあ…つ！ お尻の穴、触っちゃいやあ…あ…あ…つ  
あ…や、先生のおちんぽ、お尻の穴に当てないで…つ  
変な感じするう…つ」

ゆき

「やあ…先生、ゆきのお尻の穴のしわの数…数えないでください…つ、  
んん…生意気たくさん言ったこと謝りますからあ…つつ。  
先生からお尻をじっくり見られてると思うと…  
おまんこから勝手にあ、愛液が溢れてきます…つつ。  
おまんこが、先生欲しいって言っています…。  
ああ、先生欲しい。おちんちん、欲しい。欲しいです…！  
先生、お願ひします。  
おちんちんを…ゆきのおまんこに入れてください…つ  
お願ひ…挿れてください。  
後ろからいっぱい突いてください…つ」

りお (囁き)

「先生、ゆきとりお、ちゃんと交互に入れてね？  
え？ コンドームはなしでいいよ♪  
初めてだもん、生ハメきめちゃお♪」

ゆき

「ありのままの先生を入れてください…つ  
あ…入ってる…先生のがずぶずぶって入ってくるう♪  
ああ、奥の奥までえ、ずぶぶ…ずぶぶってはいっていってるううう♪  
あ…あ…ん…あ…あ…はあああん…つ。  
は、入ったあああ。はあはあ。はあはあ、はん…ん…」

りお (囁き)

「わー、先生のおちんぽ、りおのおまんこにぜーんぶ入っちゃった。  
ふふ、どーですか？ 教え子の生おまんこは？ 気持ちいいですかー？  
ふふ、言葉もないって感じみたい、先生かわい♪ ゆきはどうお？」

ゆき

「はあ、はあ、ああ♪ ああ、すごいです♪  
ゆきのおまんこの中、先生のおちんちんでいっぱいです。  
はあはあ、先生、どうですか？  
初めての生ハメ、しかも教え子にバックからいれてる気持ちはどーですか？」

ゆき

「ふふ、キツキツで、JKのマンコだと思うと、  
すっごい興奮しちゃってもう出しちゃいそうなんですね、ふふ、可愛いです♪  
えー、私は、先生とエッチできてすっごい幸せですよ～♪  
だからあ、動いていいですよ先生、いっぱい動いて下さい♪  
…んつ、はあつ、あつ、ああつ、はい、そうです、先生、一杯動いてっ♪  
あつあつ、あつ、  
先生、先生…私の先生…っ♪  
ああつ、すごっ、どんどん腰の動きがはやくなってくるっ♪  
ゆきの名前呼びながら、ガンガンついちゃってる♪  
ふふ、いいですよ、初めてだから、気持ち良すぎて腰がとまらないんですね。  
たーぱりゆきのおまんこ味わって下さいね♪  
ああつ、もっと激しくなって♪  
あつあつあつあつ♡  
先生っ、先生っ！先生っ！  
ああつ、はいっ、私も、私も好きっ！ 好きです！  
先生のこと好きだから生ハメも大丈夫です、中出しももちろんオッケーです  
から、だから、いっぱいいっぱいゆきの中で気持ち良くなって下さいねっ♪  
ああつ、先生、先生っ♪」

(りお声の向き：正面 距離：普通)

りお

「もお、先生、ゆきばっかりズルイ。  
りおのおまんこにも、先生のおちんぽ挿れて♡  
やったあ」

ゆき

「ん、ああ、はあつ……ん、抜けちゃった」

りお

「わーめっちゃドキドキするう。

ン……あ……、入って、きたあ…つつ

んんんん…、んんんん…、きたきた♡

メリメリって…来てる、来てるよおつ

お…オ…♡

先生の童貞ちんぽきたあああ♡

ふふ、ゆきで筆下ろしなんて許さないからね、

先生はだからまだドーテーなんだよ♪

にしても、はあは、でかあ…先生の大き♪

ああ、ゆき、こんなの ireられてたんだあ、

ああ、教え子のマンコ、

J Kのロリマンコ拡張するようにズイズイ奥まで入ってくるう♪

ああ、でも、すごいけど、先生はりおのものなんだからね。

先生が入れてるんじゃなくてあくまでりおが入れさせてあげてるんだから！

だから、りおが先生を支配してるの！

だからー、動くのはりおが合図してから！ わかった？

ふふ、じゃあ、良い子にして動かしてみて？

ん、そうそう、あ、ああっ、上手上手っ、ああっ、先生上手だよおつ、

ああんっ、良いところにあたるうつ♪ ああっ、あああ、嘘お♪

こ、こんなの、…あっ、あつ♡

あんっ、あんっ♡ ああっ、めっちゃいいこれえ♡

先生のおちんぽやばいよおつ♪ あああ、まじやばあ。

これハマリそう♡あっ、いいっ、先生やるじゃん。すごいっすごいよおつ♪

ああっ、先生がついてきた、りおのこと好き好きいってきたあ♪

あんっ、あたしもあたしも好きだよおつ♪

あっ、あっ、どお？ゆきよりいいでしょ？

あっ、あっ、ゆきとりおのおまんこ、どっちがいいか確かめて♡

たっぷり生ハメで、あたしとゆきの姉妹の教え子マンコ確かめて♪

あんっ、ああっ、ん、そうそう、そうやって確かめて♪

あはっ、先生すっごい気持ち良さそつ。

ふふ、気持ちいいのは、もちろんりおのおまんこ、だよね？ 先生？♡

えっ、どっちも？ 比べられない？ それどころか、もう腰が？  
え、うそっ、まだ激しくなってっ、あっ、ああっ、ひ、ひいいんっ。  
ああっ、らめっ、こんなの、ああ、すごいっ、しゅごいよ…つおつおつおつ、  
いいいい…やばあ…あっあつあつあつあつあつ  
先生っ、先生！…ああっ、はあはあはあはあはあはあはあ…  
先生っ、あっ、ああっ…ん、んん♡  
(挿入抜ける) あああつつ♡  
(挿入終わり息が荒い) はあ…はあ…はあ…はあ…」

### ゆき

「ねえ、先生♡ またゆきにも挿れて欲しいです♡  
ねえ先生お願いしますぅ、  
もうさっきからオマンコ疼いて疼いて仕方ないんですぅ、だからあ♪  
(挿入) んっ、ああっ、先生のがまたっ♪  
あああああっ、いい、いいですぅ。  
先生の生おちんちん、すごい気持ちいいですぅつ、あああ、いい、いいいつ。  
ずっとこうしたかった…はあはあ、  
はいっ、ほんとです。ど、どれくらいかって。  
え、えっとそれは。  
じ、実は、先生のこと思って」

### りお

「え、ゆき、それはっ！」

### ゆき

「ちゃ、ちゃんといわないとなんですね。  
先生のこと思ってりおとふたりで、お、オナニーしてたときもありました」

### りお

「あうう」

### ゆき

「あ、すごい、先生のさっきより太く大きくなって。  
はい、ずっとずっと先生のことを思って、  
りおと2人でオナニーしてたんですぅ。  
だから、はあ…つこのままっ、りおとゆき、交互に突いてっ」

りおゆき

「あつあつあつあつ、あんつ、あんつ、  
はあはあ…はあはあ…はあつ、はあつ、はあはあ…つああんつ  
んん…あ、あ、あ、あ、ふううん…つ  
ああんつ、ああ…あ…あ…あ…あ…あ…  
はああああ…ひ、いいい…あは、ん…  
ほお、お、おお…お…ん…  
はああ、はあ、ああ、ああ、ああ、あ、ああああ、ああ、  
ん…く…つ、ふつふつ、ひつ、ふつ、うつ、んつ…  
んん…ふう…はあはあああんつあつ、ああつ！あつ」

S E 玄関のドアが開く音

(ママ声の向き：右 距離：遠く)

ママ

「ただいま～。ゆき～りお～、ちゃんと勉強してる？」

ゆき

「マ、ママ…？！（ピストン止まらない。声我慢して）  
ど、どうしよう、ママ帰ってきた…みたい…はあ、はあ」

ママ

「ゆき？…りおー？いるの～？」

ゆき

「…は…ああ、う、うん…、ママ。。  
ゆきもりおもちゃんと…勉強…してるううう…よお…はあ…」

ママ

「そーなのねー？りおもいるのよねー？ちゃんと勉強してるのー？」

りお

「(りおに挿入・声を殺してセックス)  
…？！ンンン…つふう…ん…つ、はあはあ…  
うん、ママ…はあ…だ、大丈夫…んつ、  
ちゃんと、はあ、真面目にい勉強してるよお…」

ママ

「それは良かったわ。先生にご迷惑かけないようにね。  
それじゃあママ、お夕飯作ってるわね～。  
今日は二人の好きなオムライスよ♡」

## りおゆき

「(目の焦点合わない感じ) はあああああいいい…♡」

ゆき

「(声を殺して喘ぎながら) 先生…ず、するい、ですっ  
あっ、だめ、です…つ、そんなに、激しくしたら…つ、  
あっ、声、出ちゃいます…つああ…あ… ママに聞こえちゃう…つ  
ん…ふ…つん…

(声を殺した喘ぎ) ん…ふ…ふ…んん…んん…つ、  
ふつふつ、ん…つ、んつんつ、んん！  
ふうふう、…ん…ンん…

はあはあ、はあはあ…  
はあああ…ん…んん。  
んつんつんつ。。。」

りお

「(必死に声を殺して喘ぎながら)  
ああっ、あっ、あっ、だめ、だめ…っ、ママに聞こえちゃう…から  
姉妹2人とセックスしてるってバレたらまずいよお、  
ね、もっと、優しく、して…っ。はあはあ…いじわるうう…  
はあああああん…っ やば…声出ちゃう…  
んん…ん…  
(枕に口をふさいで声殺して喘ぎ )  
…ふ…ふ…んん…んん…っ、  
ふつふつ、ん…っ、んつんっ、んん！

ふうふう、…ん…ん…  
ふうふう…ふうふう、はあ…  
はあああ…ん…ん。んつんつんつ  
んつんつんつ  
はあはあはあはあはあは…つ  
はああああつ、はあつ、はあつ、はあつ、  
あ…つ んつんつんつんつんつんつ」

### ゆき

「あっ、あつもうすぐ、出るんですか？出るんですね？  
いいですよ、生徒にからかわれてその気になって、  
隣にママがいるのにかかわらず、  
無責任に中出ししちゃう先生が大好きですからっつ出して♡ゆきに出して♡」

### りお

「あ、そんな激しいのだめ。だめ。だめえええ。  
出ちゃう。声出ちゃううう。  
すぐそこにママがいるのにい…  
ああああつ、出るつ、出るつ、声出るうう  
こんなん反則う…あんつつ、先生のばかあ、先生の変態口リコンちんぽつ、  
ばかばかつ、あつ  
あつあつ、あん、せんせつ、そこつ、  
あつ、だめ、りおにして、せんせつ、  
出して出してつ  
は、あ、あ、いく…イクイクイクイク…つ」

### りおゆき

「(声殺すのはやめて、我慢できず普通の喘ぎ声に戻る)  
ああああつ、はあ、はあ、はあああ、んつ、ふうつ、  
りお（ゆき）にしてつ、  
せんせつ、あ…つ、はあ、はつ、あん…あつ、あつ、あつ、あつ、  
イッちゃう…イクイクイクイクイク…いくううううううううう、  
はあああああん…つつ！～～～～～つつ！（絶頂）  
…はあはあ。…はあ…はあ。」

りお

「はあはあ…すごお…ゆきとりお、どっちにも射精してくれたんだね♡  
せんせー、やればできんじゃん♡  
ちょー上手。りおが花丸あげる。んんーちゅ♡」

ゆき

「はあはあ…射精してくれて嬉しいですぅ…  
先生の精子がゆきのおまんこの中いっぱい…あつたかくて幸せです。  
たくさん射精してくださりありがとうございます。  
先生、よくできましたね。満点です。んんーちゅ♡」